

ベビーサインなど学ぶ

助産院長の山本さん講師に

大船渡

NPO法人・こそだ

て学んだ。

てシップ（伊藤怜子理事長）は4、5の両日、大船渡市盛町のシヨッピングセンター「サン・リア」内に開設している「すくすくルーム」で、子育てスクー

4日の第2回子育てスクールは、「はじめてのベビーサイン」と題して実施。市内外の親子13組が参加した。

一方、5日に行われた第3回子育てスクールでは、「子どもの心を育てるタッチケア」について学んだ。

「おおたかの森助産院」で院長を務める山本正子さん（43）を講師に招き、ベビーサインとタッチケアについて

まだ言葉が話せない乳幼児と手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとる方法。山本さんは、▽育児が楽しくなる▽健康維持・安全確認ができ

る▽家族のきずなが強くなる▽赤ちゃんのコミュニケーション能力が高くなる——といったメリットがあることを説明した。



顔から順番にマッサージュしていく際には、山本さんが「赤ちゃんが泣いちゃうときは無

理しないで」「声をかけてあげながら」などと積極的にアドバイス。

最後に、「赤ちゃんが一番好きなのは、お父さんとお母さんの笑顔と抱っこ。100回の笑顔が1回の夫婦げんかで台無しになるから、絶対にしてはダメ」と参加者に呼びかけていた。

.....
第3回子育てスクールでは、「子どもの心を育てるタッチケア」について学習しすくすくルーム